

道の駅 自転車生かそ

舞鶴高専生、全国大会で特別賞

舞鶴工業高専（舞鶴市）デザイン部の学生らによる、自転車に注目した「道の駅舞鶴港とれとれセンター」（同市）の増築案が、和歌山市で昨年11月に開かれた「全国高専デザインコンペティション2015」の空間デザイン部門で3位にあたる審査員特別賞を受賞した。

同部門は「地域強靱化に資する道の駅デザイン」がテーマ。建設システム工学



模型を使って、道の駅のデザインを説明する竹内正彦さん（右）ら＝舞鶴市下福井

科の4人が提案したのは、自転車で訪れる人をターゲットにした「自転車がつなぐ地域の未来」。同センター東側の海岸沿いの大野辺緑地に回船問屋をイメージした上屋（長さ約500メートル）を建て、クルーズ客船が寄港する埠頭と同センターを結ぶ。サイクリストが集めた地域の隠れた情報を観光客に伝える情報センターなどを通じて、地域にぎわいをもたらすとしている。

同センターで2日夕に開かれた報告会には、4人のうちリーダーの竹内正彦さん（3年）、斉藤タカヤさん（1年）、谷口龍一さん（同）が参加。竹内さんは「今の道の駅は車社会が前提。自転車によって地域と観光客がつながる道の駅を目指した」と説明した。（福家司）